

ダ  
モ  
イ  
帰国を、

信じて。



# ラゲリより愛を込めて

FROM SIBERIA WITH LOVE

二宮和也 北川景子

監督:瀬々敬久 企画プロデュース:平野 隆 脚本:林 民夫  
【64-ロクヨン】 【余命1ヶ月の花嫁】 【永遠の0】

原作:「収容所から来た遺書」(迎見じゅん著/文春文庫刊)

助成:文芸春秋文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

配給:東宝 ©2022「ラゲリより愛を込めて」製作委員会 1989清水希子 ©1989

lageri-movie.jp

12.9 [FRI]

運命に翻弄され再会を願い続けた2人——11年に及ぶ“愛の実話”



あなたに会うため、  
生きて必ず帰ります。



劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です  
www.eigaikan.org  
0120-560098

## STORY

第二次世界大戦後の1945年。そこは零下40度の厳冬の世界・シベリア…。わずかな食料での過酷な労働が続く日々。死に逝く者が続出する地獄の強制収容所（ラーゲリ）に、その男・山本幡男は居た。「生きる希望を捨ててはいけません。帰国（ダモイ）の日は必ずやって来ます。」絶望する捕虜たちに、山本は訴え続けた――

山本はどんな劣悪な環境にあっても分け隔てなく皆を励ました。そんな彼の仲間想いの行動と信念は、凍っていた日本人捕虜たちの心を次第に溶かしていく。山本はいかなる時も日本にいる妻や4人の子どもと一緒に過ごす日々が訪れることを信じていた。

終戦から8年が経ち、山本に妻からの葉書が届く。厳しい検閲をくぐり抜けたその葉書には「あなたの帰りを待っています」と。たった一人で子どもたちを育てている妻を想い、山本は涙を流さずにはいられなかった。誰もがダモイの日が近づいていると感じていたが、その頃には、彼の体は病魔に侵されていた…

